

学会長 殿

国際農業工学会(CIGR)

日本農業工学会

この度、国際農業工学会 (CIGR) 事務局が現在の独国ボン市より日本国つくば市に 2006 年 1 月より移動することが、2004 年 10 月の CIGR 総会 (中国) で決定いたしました。

つきましては下記のとおり、事務局開所式ならびに記念シンポジウムを開催いたします。この開所式および記念シンポジウムにおいて、現 CIGR 会長および日本側メンバー会員である日本学術会議の方に、記念講演を頂く予定です。また、記念シンポジウムには日本農業工学会に所属する農業工学関連学協会員による一般講演を予定しています。

関連学会の各会長におかれましては、この趣旨に賛同をお願いすると共に、所属会員の学術研究発表ならびに情報交換の場を提供し、その成果を CIGR が発行している e-journal への投稿をうながす機会であることをご理解願います。特に将来を担う若手研究者の活力の源にしたいと考えています。

### 記

#### 1. シンポジウム「地球的課題と将来の農業工学」

—人口増加、環境ストレス、限りある資源および生物種の損失の  
のもとで農業工学が世界に発信できる方策は何かを考える—

#### 2. 開催日：2006年3月27日(月)

#### 3. 開催場所：筑波大学大学院生命環境科学研究科公開講義室(総合A110室)、 会議室(総合A205室)

#### 4. 日 程：

9:00～9:30 参加者登録

9:30～10:30 開所式、(CIGR 会長/日本学術会議会長/日本農業工学会副  
会長/研究科長の祝辞)(式の中に20分位の記念講演を予定)

10:30～11:00 休憩

11:00～12:30 記念講演(Part1)(総合A110室)

(1) Luis Santos Pereria(現CIGR会長)

(2) 木谷 収(元CIGR会長)

12:30～13:30 昼食会(第2学群 食堂)

13:30～17:00 一般講演会(総合A110室)(100人)

人数が多い場合 総合A205(35人)でも実施する。

17:00～17:10 閉会の挨拶(次期会長)

#### 5. 執行役員会(13:30～17:00)：生命産業科学専攻教育棟 BS505、BS504

#### 6. 参加費：5,000円(資料代を含め参加者より徴収)

#### 7. その他：(1)参加の申込締め切り：定員になり次第締め切り (別添の申込書にて申込)

(2)講演題目およびAbstract締め切り：2006年2月15日(水)

(3)発表論文原稿締め切り(A4版4枚以内)：

2006年3月9日(木)

以上